

魅力と活力ある快適な地域づくりの推進

～「暮らしやすい」、「働きやすい」、「訪れたい」都市を目指して～

大阪は、その魅力と活力に惹かれ多くの人々が暮らし、働き、訪れる地域ですが、一方で、ヒートアイランド現象やいまだ多数の苦情がよせられる騒音・振動などの都市部特有の問題、「みどりが少ない」、「雑然としている」などのマイナスイメージもあります。今後、日本全体の人口が減少していくなかで、引き続き都市の活力を維持していくためには、快適な生活環境が確保された「暮らしやすい」、「働きやすい」、「訪れたい」都市を目指し、大阪の特徴を活かした質の高い都市環境を創造し、魅力と活力を高めていくことが必要です。

緑と水辺の保全と創造

■みどり*の風を感じる大阪

みどりの連続性を強化し、海～街～山をつなぐ「みどりの軸」を創出するとともに、CO2の吸収をはじめ、みどりの多様な機能を発揮させる「周辺山系など既存のみどりの保全・再生」、多様なみどりを増やし、つなぎ、広げる「みどりの量的充足」、暮らしの豊かさや安全・安心、生物多様性確保などに資する「みどりの質の向上」を図るため、4つの基本戦略のもとに、広域的なみどりのネットワークを構築し、実感出来るみどりづくりを推進します。

※みどり：周辺山系の森林、都市の樹林・樹木・草花、公園、農地に加え、これらと一体となった水辺・オープンスペースなど

基本戦略-1 みどり豊かな自然環境の保全・再生

周辺山系や農空間、大阪市の豊かな自然環境の保全・再生により、「みどりの環境保全機能の発揮」「生物多様性の確保」「市民の憩いの場づくり」を実現

周辺山系の保全・再生

- 小規模開発協議制度の創設
- 新たな府立自然公園の指定
- 里山保全地域指定制度の創設
- 放置森林対策の推進
- 「生物山系花屏風」構想の実現

農空間の保全・活用

- 農空間保全地域の指定
- 遊休農地の利用促進
- ため池、水路のオアシス整備

臨海部の保全・再生

- 「共生の森」づくり
- 河口干潟の再生
- 人工干潟の整備
- 港湾部の緑地の拡大

基本戦略-2 みどりの風を感じるネットワークの形成

主要道路・主要河川・大規模公園緑地を軸と拠点として、山や海の豊かな自然を都市へと導く、みどりの連続性や厚み・広がり確保します

道路・河川を主軸としたネットワーク

- 中環の森づくり
- 高木並木による緑陰づくり
- 「水の都大阪」の再生
- 持続的かつ多様な河川環境の創出

みどりの連続性や厚みと広がり確保

- 「仮称みどりの風促進区域」の検討
- 主要道路や主要河川、大規模公園などを軸と拠点とした区域を指定し、緑豊かなセミパブリック空間を創出

ネットワークの拠点となる大規模公園緑地

- 府営公園整備によるみどりの拡充
- 企業連携による「家野丘緑地」整備
- 下水処理場上部緑化

基本戦略-3 街の中に多様なみどりを創出

屋上・壁面など様々な空間にみどりを増やし、つなぎ、広げ、「都市の中でもみどりの風を感じる街づくり」を進めます

府有施設等の緑化推進等

- 府有施設等緑化推進計画の推進
- 市町村管理施設等との連携

民有地のみどりの保全・創出

- 建築物緑化促進制度の推進・強化
- 自治体の緑化を重点視し、制度改革の検討
- 屋上・壁面・駐車場等新たなみどりの創出

基本戦略-4 みどりの行動の促進

府民や企業、NPOとの協働による保全の体制や仕組みづくりにより、「みどりを通じた地域力の再生」を目指します

みどりづくりを通じた地域力再生

- 校庭の芝生化
- みんなで育てる「花いっぱい」プロジェクト
- 緑化植樹祭

府民、NPO、企業等との連携推進

- CSR活動との連携
- アドプトプログラム
- 新たな公（協議会等）によるみどりづくり
- みどり基金など寄附制度の拡充

みどりの人づくり・組織づくり

- 子どもたちによる「身近な生き物調査」「自然の森づくり」
- ボランティアリーダーの育成

海と山をつなぐみどりの風の軸を作る

資料：みどりの大阪推進計画

魅力ある景観、歴史的・文化的環境の形成

■魅力ある景観の形成

大阪は、大阪湾に面し、周辺を豊かな緑を有する山系にかこまれ、平野部では淀川、大和川をはじめとする河川や、ため池などの多くの水辺によって、身近にゆとりと潤いを感じさせる豊かな自然景観を有しています。また、古代から現代に至る重層的な歴史に育まれたまちなみは、人々を引きつける魅力ある都市景観を形成しています。このような優れた景観を、法や条例等によって保全していくこととあわせ、地域の活力づくりにも活用することによって、地域の誇りとして積極的な保全につなげていけるよう取り組みます。

■歴史的・文化的環境の形成

府内の、有形、無形の歴史的・文化的資源を保全し継承していくとともに、豊かな歴史、食や芸能等の特徴ある文化を観光やまちづくりの分野へ活用し、都市の魅力や地域の活力づくりを進めます。特に世界共通の普遍的な価値をもつ可能性が非常に高いと考えられる百舌鳥・古市古墳群について、関係市等と共同して、世界遺産に登録するため取り組みを進めます。



千早赤阪村下赤阪の棚田



富田林市寺内町の町並



百舌鳥・古市古墳

快適で安らぎのある都市環境の形成

大阪は、商業・交通・教育・医療などの都市機能が集約され利便性が高い反面、ヒートアイランド現象により夜間の最低気温が25度を超える熱帯夜が年間40日以上におよぶなど、過ごしやすさが損なわれています。

また、交通量の多い道路や、航空機、鉄軌道、工場・事業場、建設作業などからの騒音・振動や、悪臭などにより、静かで安らぎのある生活環境が損なわれています。

そのため、快適で安らぎのある都市環境の創造を進めます。

■騒音・振動の防止

道路交通騒音については、2020年に環境保全目標を概ね達成（達成率95%以上）するため（2008年 達成率89%）、低騒音舗装の推進、沿道環境対策やバイパス整備等の交通流対策等を推進します。航空機騒音対策では大阪国際空港周辺において、周辺緑地整備、民家防音工事等の環境対策を関係機関と連携して進めます。

また、工場・事業場や建設作業などの固定発生源、新幹線等の鉄道については市町村と適切な役割分担のもと対策を進めます。

低周波音については、人体への影響等も十分解明されておらず、実態調査等により知見の収集等に努めます。

■ヒートアイランド現象の緩和

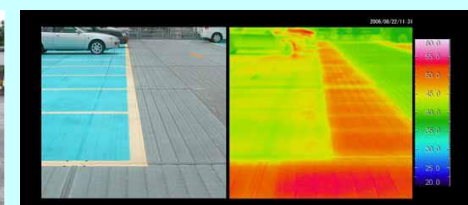
風や緑、水による冷却作用の利活用に加え、建物からの排熱を減らすため、建築物の省エネ化の促進、未利用エネルギーの利用等の促進を図るとともに、自動車からの熱を減らすため、交通渋滞の緩和、公共交通の利便性の向上を図り、人工排熱を低減します。また、施設の遮熱性の向上や、透水性舗装等の推進等により建物・地表面の高温化を抑制しヒートアイランド現象の緩和を推進します。



屋上緑化



駐車場の芝生化



太陽熱の高反射舗装